

# 大槻東公民館 (館長 工藤 信一)

## 「新興住宅街の地域づくり」

～心のよりどころと郷土愛の持てる地域へ～

### 《公民館のビジョン》

公民館事業の重要性を共有し、ニーズに即した活動を積極的に展開し、  
“みんなを笑顔にし、誰からも信頼される公民館になる。”

### 《実現すべき姿》

職員全員の一体感と連携

参加し易いコミュニティの形成

外部から信頼される活動内容と成果

・本庁および各地域組織との密接な連携

・充実した社会教育機能

### 《地域の特色と課題》

※就任時



市の中心部への  
交通の便がよい。



都市化進行中



平成元、町内会連合会独立、  
平成2年公民館開館

この静御前堂は隣町...



由緒ある名所や旧跡、  
地域のお祭りが少ない。



人口・子どもの数が  
増加傾向



新旧居住者の交流が  
少ない。

### 《公民館内部の課題》

- ・職員の情報共有と協力体制が弱い
- ・学習ニーズの把握が不十分

- ・情報提供が総花的
- ・利用者の固定化（年配の女性）

## 《特色のある「学級・講座」》

### 子ども参画事業「サタ・クラ」(H15年度～)

子ども達にとって、**ここが大切な郷土**と思えるようにという願いのもと、地域との交流の機会と土曜日の居場所作りの機会として開催している。

#### 内容・方法：

一年間の行事（14回程度）を子ども達自身が考える「**企画会議**」で話し合って決定する。各回のチラシも子どもが作成している。企画会議の進行や当日の運営は、サタ・クラOBの中学生がファシリテーターとなって協力している。子ども対象の行事では、昔遊びや流しそば、田植え体験等盛りだくさんの内容になっているが、必ず、

「**子どもをお客さんにしない。**」「**地域住民とのふれあい**」をキーワードにしている。今年度は、親子参加型事業やサタ・クラOB会の設置を予定している。



### ママとも講座・託児ボランティア養成講座 (H16年度～)

近所に知り合いがおらず、密室育児の状態、一人で悩みを抱える親を支えるため、地域ぐるみでの**子育て支援**の機会として開催している。

#### 内容・方法：

子育てに関する学習のみならず、親子や親同士の交流ができる体験学習や、悩みを分かち合えるワークショップなどを盛り込んでいる。さらに、託児ボランティアを養成し、子育ての先輩世代との交流により、地域ぐるみでの子育て支援に結びつくよう配慮している。



### 男マイスター養成講座 (H18年度～)

**団塊の世代の地域デビュー**を促進し、地域での活躍を促進するために開催した。

#### 内容・方法：

男性にとって、楽しめる内容（酒の肴やそばうち・利き酒）を盛り込んだ。『参加して終わり』ではなく、習得した料理の腕を試すべく、最終回では「**奥さんを招いてスペシャルパーティ**」を開催し、妻をもてなした。さらに、裏メニューとして、**子ども向けの「流しそば体験」の支援者**として活躍してもらった。無理なボランティアではなく、継続できる楽しい地域貢献の仕組みを作っている。



**成果**：参加者自身が、多様な技能を持っていることがわかった。参加者自身に講師になってもらう講座も盛り込んだ。大工の棟梁には、「日曜大工」の講師になってもらい、参加者全員で**公民館で使う『ベンチ』の製作**に喜んで励んでくれた。

## いきいき学級（高齢者学級）

地域のお年寄りの生きがいと仲間づくりを目的として開催した。

### 内容・方法：

高齢者にとって楽しめる趣味やレクリエーションを盛り込むだけでなく、地域に役立つ存在という意識を持ってもらえるように配慮した。

**3カ年計画の「大槻東かるたづくり」では、1年目に川柳を学び、二年目に絵手紙の技法を学び、地域カルタを作成した。**今では、地域の子ども達の大切な遊び道具になっている。



## プチ留学講座（H17年度～）

国際理解や**多文化共生**を目指し、開催している。

### 内容・方法：

外国語の習得や料理の体験型学習と、多角的な視点を持つことができるよう多文化共生ワークショップや内戦体験者の講話等、差別の解消に向けた内容を盛り込んでいる。



## やってみっぺ～・みてみっぺ～（H19年度～）

将来的に地域住民の心のよりどころとなるお祭りをつくりたいと考えているので、その布石となるよう、**地域の歴史の再発見や、祭りの担い手の養成**を行っている。

**内容・方法：**地域の農産物などの販売を行う「ふるさと市」や地域に伝わる民話の「お話し会」などを開催している。



## フローライフ（H19年度～）

住みよいふるさとづくりを目的として、地域をよく知り、少しでも地域を良くしていく活動や子どもたちの**「ふるさと意識の醸成」**につながる活動を行う。

### 内容・方法：

田植え体験や収穫体験、収穫した米を使った餅つき大会、タウンウォッチングや史跡めぐり・歴史講座など、郷土愛を育む内容を開催している。

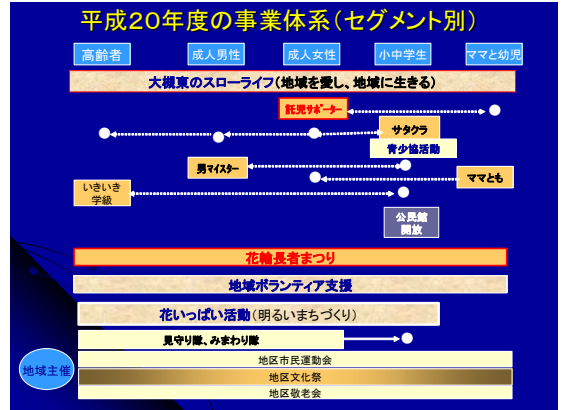


## 世代間交流・事業間交流

事業間の連携を図り、単なるその時だけの代間交流ではなく、意味のある連携や交流を心がけている。

### 【連携例】

- 1 「男マイスター養成講座」の受講者が蕎麦打ち体験の講師となって、「サタ・クラ」で子どもに指導
- 2 若い母親が中心の「ママとも講座」の託児（一時保育）等の支援として、子育てを終えた世代が中心の「託児サポーター養成講座」の受講者が行う。
- 3 「高齢者学級」の参加者が地域のカルタを作って、子ども達に送った。
- 4 地域の子ども達が空き缶を集めて、高齢者に贈り物をする。
- 5 地域の各種団体と公民館クラブの活動を結びつけて、地域の高齢者等へのボランティア活動を支援する。



### 「花輪長者まつり」の創設へ（H20年度～）

ふるさとづくり隊や町内会連合会と協力し、大槻東地域住民の心のよりどころとなる**地域全体の祭り**を創り出し、地域の活性化に寄与する。

詳細内容は実行委員会で決める。

例：仮装行列、化け参り、綱引き、凧揚げ、子ども神輿、長者おどり など

### 《公民館の運営面での取り組み》

施設の使いやすさ～手作りで、居心地よく、使いやすい公民館へ変身～

#### ◆ 折りたたみ荷物台



#### ◆ くつろぎロビー



#### ◆ 和室スロープ



#### ◆ チョイがけ椅子

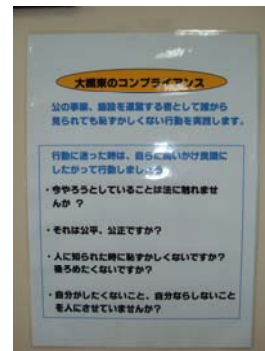


#### ◆ 手作りベンチ（男マイスター養成講座参加者が作成）



## 公民館職員の姿勢

- ◆ 職員の業務打ち合わせの充実、効率化・**話やすい環境**作り
- ◆ 各地域組織との連携面では、本来の役割以上の貢献への期待があるが、出来る範囲での貢献とけじめ
- ◆ 丁寧な対応の継続 ◆ **「大槻東のコンプライアンス」**の作成と遵守



## 情報発信・情報収集

- ◆ ホームページ
- ◆ チラシ等の重点化
- ◆ 学校便りの掲示
- ◆ 文化祭でアンケート調査
- ◆ 住民との会話を大事にする
- ◆ 町内会での事業説明の開催



## 団体のがんばりを認め、励ますために…

がんばっている**地域活動団体**を「**各種表彰制度**」で**推薦!!** 地域のために影ながら貢献した団体や人々を表舞台に!!

【受賞歴】青少年健全育成推進協議会・  
老人会・保健委員会・交通安全協会・  
町内会連合会長・前防犯協会长・  
前明るいまちづくり推進委委員会委員長



## 企画委員会⇒地域づくり集団「ふるさと作り隊」へ変身

公民館主催事業の企画委員会を立ち上げ、公民館の事業の検討に尽力いただきましたが、ついに、「ふるさとづくり隊」への進化!! 現在、地域づくりの中核として、活躍していただき、市の助成金制度「21世紀個性ある地域振興事業」に選出され、地域づくりの活動に励んでいきます。今年、**郡山七中の生徒とともに、地域マップづくりに**取り組みました。



